



20年来グローバル コミュニケーションズ エキスパート。元JAXAエグゼクティブ アドバイザー(広報・国際担当)、国立大学法人山口大学客員教授(国際関係+コミュニケーション論)、評論家・オピニオンリーダー。東京生まれ、英国育ち。講演、テレビ、執筆、政府委員など、マルチに活躍する中で、IRと都市開発のコンサル会社代表も務める。
http://www.nishiuramidori.com

連載 第8回

「国際派大和撫子」が伝える宇宙の開發現場に
にしうらみどりの
「宇宙の窓から」



左から、シュタンツェル大使、筆者、ラインケ所長

東京事務所を開設した「ドイツ航空宇宙センター」

ナ ショナルプライドを大いに
実感した、隈研吾さんの新
生・松竹歌舞伎座が華麗なるお披露
目を遂げた3月27日。

その丁度ひと月前、2月27日

に、もう一つの嬉しいお披露目があり
ました。ドイツ航空宇宙セン
ター(DLR)東京事務所開設に
際し、駐日ドイツ連邦共和国大使
館で記者会見とレセプションが行
われたのです。

当日、DLRのヨハン・デー
トリッヒ・ヴェルナー理事長から
映像を使った楽しく解りやすいパ

レゼンもあり、日独宇宙コミュニ
ティー関係者が集って大いに飲ん
で食べて語り合いました。シュタ
ンツェル大使夫人の素晴らしいお
もてなしには筆者もついダイエツ
トを忘れます(笑)。

さて、日本との戦略的パート
ナーシップを強化するためのDL
R代表事務所開設に関してフォル
カー・シュタンツェル大使に、自
然な明かりと緑に囲まれたガラス
張りの執務室にて過日お話を伺う
機会に恵まれました。

「日本とドイツは古くから学術協
力という強い絆で結ばれています
が、その重点分野のひとつが宇宙
です。今年東京にドイツ航空宇宙
センターの事務所ができたこと
で、その絆はますます目に見える
ようになりました」と、大使は語
ります。

同席したアンドレアス・キルヒ
ナー科学技術担当参事官も領きな
がら大使の話は続きます。「宇宙
は基幹技術。日独両国にとって重
要なのです」と。

現に、筆者が知る範囲だけで

も、JAXAとDLRの協力関係
は、過去未来とも多岐にわたって
います。技術的な詳細はここでは
避けませんが、大まかにいうと、I
SS利用シンポジウム、衛星利用
協力、人材交流、航空分野もそう
です。

さあ、ここで真打の登場です。
今回のキーパースンともいえる、
ニクラス・ラインケDLR東京事
務所所長から2度にわたって詳し
く抱負を聞きながら今後の世界宇
宙論をも語り合いました。

かつてJAXA広報部に在籍経
験のあるラインケ博士は、熱く
語ってくれました。「既にDLR
は日本と40の共同研究プロジェク
トを進めていて様々な重要課題を
共有しているんです。例えば持続
可能な新エネルギー、環境保全と
経済発展が両立する交通、航空宇
宙分野における革新的応用などの
テーマです。特に重要なのは研究
開発チーム間の緊密な人的交流で
すね」と。

日本はDLRにとって、アメリ
カと並んで最も重要なパートナー
国と強調するラインケ所長の言葉
が心に響きました。